

古都アユタヤで象と楽しむ水かけ祭りの旅



2020年 **ご旅行期間とご旅行代金**
4月12日(日)発~4月19日(日)着...¥298,000
 一人部屋利用追加料金 **¥38,000**

【仏暦の新年を祝う水かけ祭りを アジア象たちと楽しめます】

ツアーのポイント

- 世界遺産アユタヤに3連泊し、タイのお正月[ソングクラン]「水かけ祭り」に参加します。エレファントキャンプにて象たちと水掛け合戦もお楽しみください。「功德の放魚」やアユタヤ川リバークルーズにもご案内します。
- 歴史を物語る国境の街・カンチャナブリーにも3連泊です。「戦場に架ける橋」泰緬鉄道に試乗し、タイで最も美しいエラワンの滝も訪れます。クワイ河での筏下りにもご案内いたします。
- メークロン線路市場、ダムヌン・サドゥアク水上マーケット、マリカシティ(民族舞踊)など、タイ中部の見どころにもご案内いたします。
- バンコクでは、色彩豊かなワット・バクナムやカラフルなラチャダー鉄道市場の夜景も観光します。人気のプーパッポンカリー(蟹カレー)もご賞味ください。

ソングクラン[水かけ祭り]

4月中旬の13日から15日の3日間がソングクランと呼ばれる南伝上座部仏教のお正月で、別名「水かけ祭り」とも呼ばれています。そこには、雷と雨の神・インドラ神(帝釈天)の色濃い影響がみとれます。釈尊を生んだ7日後に亡くなった摩耶夫人が転生した天界の第三十二天が初利天で、須弥山の頂上にあたります。悟りをひらいた釈迦がその報告に昇り、夫人に3か月の説法を施したのち、梯子に依って僧伽施国の地[僧伽舎](サンカーシャ)に降りられたとされるのがサンカーシャの奇跡の物語です。その降下の場面で釈迦をエスコートするのが、須弥山の住人であるインドラ神(帝釈天)とブラフマー神(梵天)です。その様が仏教美術の好題材のひとつとなっている「三道宝階」で、真ん中が釈迦。右で天蓋を掲げているのが帝釈天。帝釈天は銅の梯子で降りて来たとき、釈迦の左が梵天です。梵天は銀の梯子で降りて来たときとされています。釈迦の梯子は七つの宝石で飾られた七宝の梯子だったとされます。釈迦の降下に従い、梯子は上から消えていったが、最後の7段だけは消えずに残ったとされます。

太古の時代のあるとき、天上界でインドラ神(帝釈天)とブラフマン神(梵天)は、仏法について口論になりました。インドラ神はこの論争に勝ち、ブラフマン神の首を手にとりましたが、この首が高熱を発生し燃えあ

がってしまいました。首を大海に投ずれば、海の水は干上がってしまい、陸に放り出せば大地はたちどころに干からびてしまいます。致し方なくブラフマン神の7人の娘たちに首のお守りを命じ、何時いかなる時この首をささげ持ち、決して手から放してはならないと命じました。7人の娘たちは1年ごとに交代でこの役を引き受け、毎年元旦になると燃えたぎるように熱い首に水をかけてから次の当番に引き渡すことになったとされています。また、ブラフマー神の首から滴り落ちる血を洗い流すために、水を掛けたという説話もあります。

こうして、仏教の雷神インドラ神と水かけが結び付き、ソングクランの日に水掛けをする風習が始まったと考えられます。ソングクランでは、多くの寺院の庭や河原に仏塔に模した砂山が築かれます。これはまさしくインドラ神が暮らす須弥山を表しています。

4月中旬は、東南アジアの国々では、乾季から雨季へと気候が変わるタイミングにあたり、雨季直前の暑さのピーク時に涼むために水をかけるという側面や、雨季を迎えふんだんに水が使えるようになる喜び。そして旧年の汚れを洗い流すなど様々な要素が絡み合って、現在のスタイルができあがったと思われる。



ご旅行条件

- 募集人員/14名様定員
- 最少催行人員/8名様
- 全食事付/朝食6回・昼食6回・夕食7回
- 旅券残存期間/入国時3ヶ月以上
- 千歳空港使用料/¥2,610(別途必要)
- 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
- 旅行代金には、海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
- 弊社では燃油サーチャージを別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅~空港~ご自宅]
- ※ビジネスクラス利用追加料金はお問い合わせください。
- ※成田・関空・中部・福岡の各空港から出国して、バンコクで合流するプランも同料金にて承ります(日本の国内空港使用料が別途必要です。発着時間の関係で、バンコクでお待ちいただく場合もございます)。



エラワンの滝(イメージ)

ご利用予定ホテル

- アユタヤ/クルンスリ・リバーサイドホテル [3泊]★★★★パーサック川の近くに位置する広々としたお部屋の見晴らしの良いホテル。タスタブ、ドライヤー、ミニバーあり。伝統的なタイ式マッサージを行うスパもあります(有料)。
- カンチャナブリー/ロイヤル・リバークワイ・リゾート&スパ[3泊]★★★★クワイ川の畔に位置する美しいホテル。専用バルコニー付き。



泰緬鉄道(イメージ)

※上記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
 ※表記の「☑」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。☒印の食事は含まれておりません。

日次	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 バンコク アユタヤ	スーツケース無料託送サービス 自宅~空港 ■午前、千歳空港より、タイ国際航空にて、バンコクへ[10:00発/15:50着]。着後、専用バスにて、タイの古都・アユタヤへ。 ■市内レストランにて夕食後、ホテルへ。 古都アユタヤに3連泊 です。 [アユタヤ泊]☑☒☒
2	アユタヤ	今日から3日間、仏暦の新年(ソングクラン)を祝う 水かけ祭り が始まります ■午前、ヴィハーン・プラ・モンコン・ポビット寺院では、たくさんお市民が集まり、僧侶の托鉢にお供えものをしたり、仏像に水をかけたりする 伝統行事 が行われます。また、ワット・ブラシー・サンベットや、木の根と一体化したような仏像が印象的なワット・プラ・マハタートへご案内します。 ■その後、象との 水かけ合戦 に参加します。 ■午後、世界遺産アユタヤ歴史公園の観光。巨大寝釈迦仏・ワット・ロカヤ・スターラーム、鮮やかな壁画と彫刻が見事なワット・スワン・ダララーム、南蛮交易時代の旧日本人町跡などへご案内いたします。 ■夕刻、メインストリートでの水かけ祭りもお楽しみください。このお祭り期間のアユタヤ名物のワタ菓子もご賞味ください。 ■夕食後、希望者でナイトマーケットの散策へ。 [アユタヤ泊]☑☒☒
3	アユタヤ滞在	放魚の功德 リバークルーズ ■午前、アユタヤ王朝の夏の避暑地バン・パイン宮殿を見学します。その後、僧侶から 上座部仏教の法話 を聞きます(日本語)。 ■午後、ソングクラン期間中に、 功德のために魚を放す 様子を、「勝利のお寺」ワット・ヤイチャイ・モンコンや、アンコールワットを模したといわれるワット・チャイ・ワッタナラムでご覧いただけます。 ■夕刻、ボートでチャオプラヤ川をクルーズし、水面から古都アユタヤの風景をお楽しみください。 [アユタヤ泊]☑☒☒
4	アユタヤ ナコーンパトム サムットソングラム	線路市場 カンチャナブリー ■午前、サンブラーン・リバーサイド(旧ローズガーデン・リバーサイド)へ。オーガニック・ファームツアーのご案内いたします。 ■午後、面白い光景がご覧いただける メークロン線路市場 へ。線路脇で商売をするこの人たちは列車が行き交う時(1日8回)に、店のテントや傘を畳んで列車を除け、列車が過ぎ去れば再び傘やテントを広げて商売を再開します。 ■その後、歴史を物語る国境の町・カンチャナブリーへ。 カンチャナブリーにも3連泊 です。 [カンチャナブリー泊]☑☒☒
5	カンチャナブリー 泰緬鉄道	筏下り ■午前、『戦場に架ける橋』の舞台クウェー川[クワイ河]鉄橋をご覧いただきます。その後、第二次大戦中に連合軍捕虜をはじめとする多くの犠牲のもとに、日本軍がビルマへの軍事物資輸送の為に建設した 泰緬鉄道に乗り 、クウェー鉄橋駅よりタム・クラサー駅へ(所要時間1時間30分)。岩壁すれすれに造られた アルヒル棧道橋 もご覧いただけます。 ■午後、クワイ河にて、竹の筏に乗って川下りをお楽しみください。 [カンチャナブリー泊]☑☒☒
6	カンチャナブリー (エラワン国立公園)	■午前、エラワン国立公園内にある「 タイで一番美しい 」といわれる エラワンの滝 へご案内いたします。 ■午後、泰緬鉄道敷設の時、最難所だった「 地獄の切り通し 」(ヘルファイア・パス)を通り、ヘルファイア・パス・メモリアル博物館も見学します。 ■その後、 世界で最も西にあるクメール遺跡・ムアンシン歴史公園 を見学します。 ■夕刻、昔のタイの生活を復元したマリカシティR.E.124に立寄り、夕食とともに 民族舞踊 を楽しみます。 [カンチャナブリー泊]☑☒☒
7	カンチャナブリー ラチャブリー 水上マーケット	バンコク ■朝、ラチャブリーの ダムヌン・サドゥアク水上マーケット へ。売り買いが小船に乗ったまま行われる伝統文化をお楽しみください。 ■その後、バンコクへ戻ります。着後、『 緑の仏塔 』ワット・バクナムにご案内します。 ■ プーパッポンカリー(蟹カレー) の夕食後、『 絶景のナイトマーケット 』タラートロットファイ・ラチャダーを眺めたのち、空港へ。 ■深夜、タイ国際航空にて、帰国の途へ[23:55発]。 [機中泊]☑☒☒
8	千歳	■朝、千歳到着[08:35着]後、入国審査・税関検査ののち、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅 ☑☒☒